GlobalKids

2026年9月期 決算説明資料

株式会社グローバルキッズCOMPANY　2026年11月13日

将来見通し等に関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。
かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。
当社が事業環境の説明を行う上で、参考になると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。
本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

※本資料の著作権は株式会社グローバルキッズCOMPANYに属し、その目的を問わず無断で複製、引用することを禁じます。

目次

2026年9月期 決算ハイライト 3

2026年9月期 決算の概要 5

TOPICS 18

2027年9月期 業績見通し 23

付属資料 25

2026年9月期 決算ハイライト

2026年9月期 決算ハイライト

2026年9月期 第4四半期業績

- 売上高は、譲渡・閉園の影響がある一方、M&Aの寄与により前年同期比大幅増収
  - 売上高　8,068百万円　（前年同期比+24.2%）
- M&Aの寄与に加えて、職員配置適正化進展、利用定員見直しによる単価上昇等が寄与し、EBITDAは前年同期比大幅増
  - EBITDA　557百万円　（前年同期比+31.2%）

2026年9月期 通期業績

- 累計売上高は、M&Aの寄与により大幅増収、過去最高を更新
  - 売上高　33,165百万円　（前期比+22.8%）
- 保育新年度となる第3四半期以降の収支が一段と改善、職員配置適正化進展、利用定員見直しに加えICT関連費用減少が寄与しEBITDAは3期連続で過去最高を更新
  - EBITDA　2,521百万円　（前期比+49.3%）

2027年9月期 通期業績予想

- 売上高は、マーケティング強化に伴う既存園の在籍園児数増加により増加見込み。EBITDAは、同理由のほか収支改善施策の継続により前期比8.3%増を想定。
  - 売上高　33,830百万円　（前期比+2.0%）
  - EBITDA　2,730百万円　（前期比+8.3%）
  - 配当　1株当たり40円　（前期比±0円）

2026年9月期 決算の概要

2026年9月期 業績概要

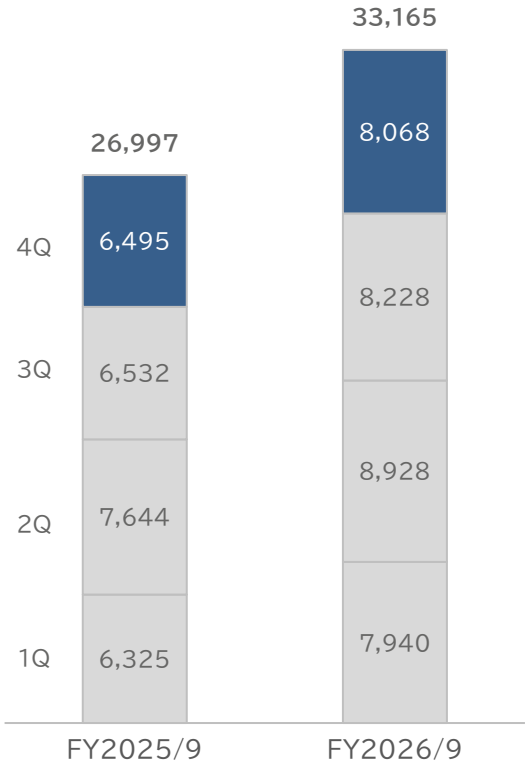
2026年9月期 通期連結業績概要(百万円)

	FY2025/9	対売上高	FY2026/9	対売上高	前期比
売上高	26,997	-	33,165	-	+22.8%
売上総利益	2,685	9.9%	3,706	11.2%	+38.0%
EBITDA	1,689	6.3%	2,521	7.6%	+49.3%
営業利益	858	3.2%	1,574	4.7%	+83.4%
経常利益	808	3.0%	1,501	4.5%	+85.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	72	0.3%	855	2.6%	+1,079.4%

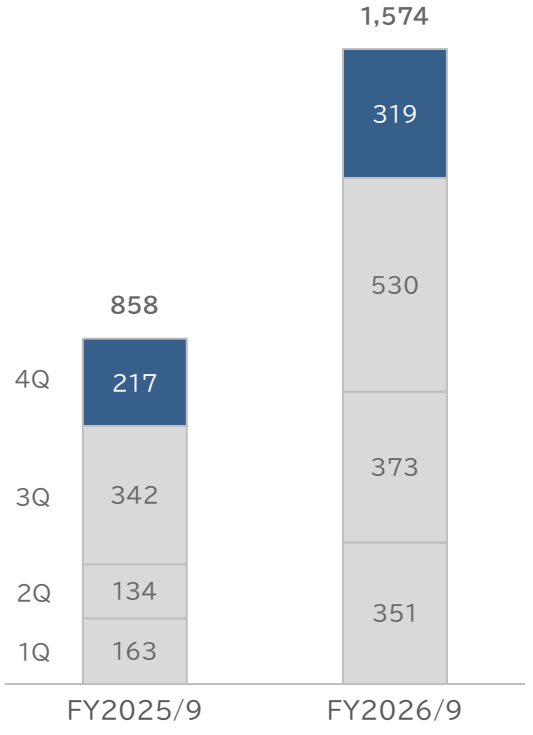
売上高・営業利益・親会社株主に帰属する当期純利益

第4四半期は、M&A寄与を主因に大幅増収、大幅営業増益。通期では、M&A寄与を主因に売上高が過去最高を記録。営業利益は、のれん償却費98百万円を計上したものの、M&A寄与に加え職員配置適正化進展や定員変更による単価上昇、ICT関連費用削減が寄与し、前期比83.4%増と3期連続で過去最高益を更新。親会社株主に帰属する当期純利益は、減損損失計上も同11.8倍の大幅増を記録。

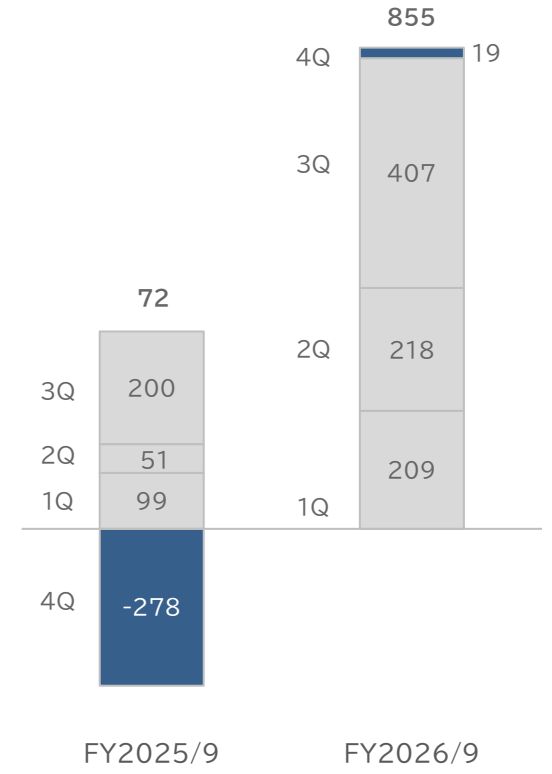
売上高(百万円)



営業利益(百万円)



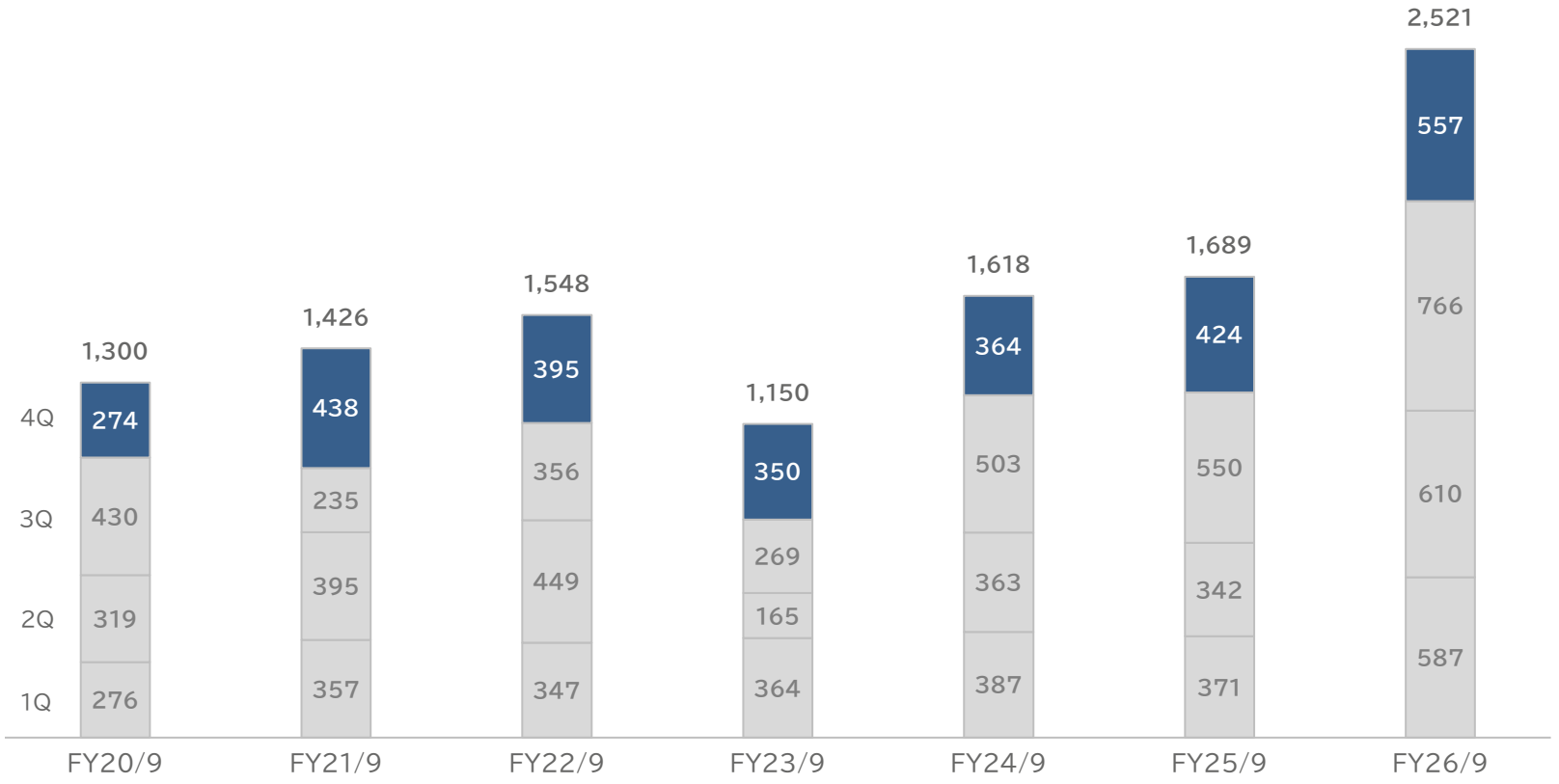
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



EBITDA

第4四半期のEBITDAは、前年同期比31.2%増の557百万円と過去最高を更新。
通期でも前期比49.3%増の2,521百万円と3期連続で過去最高を更新。

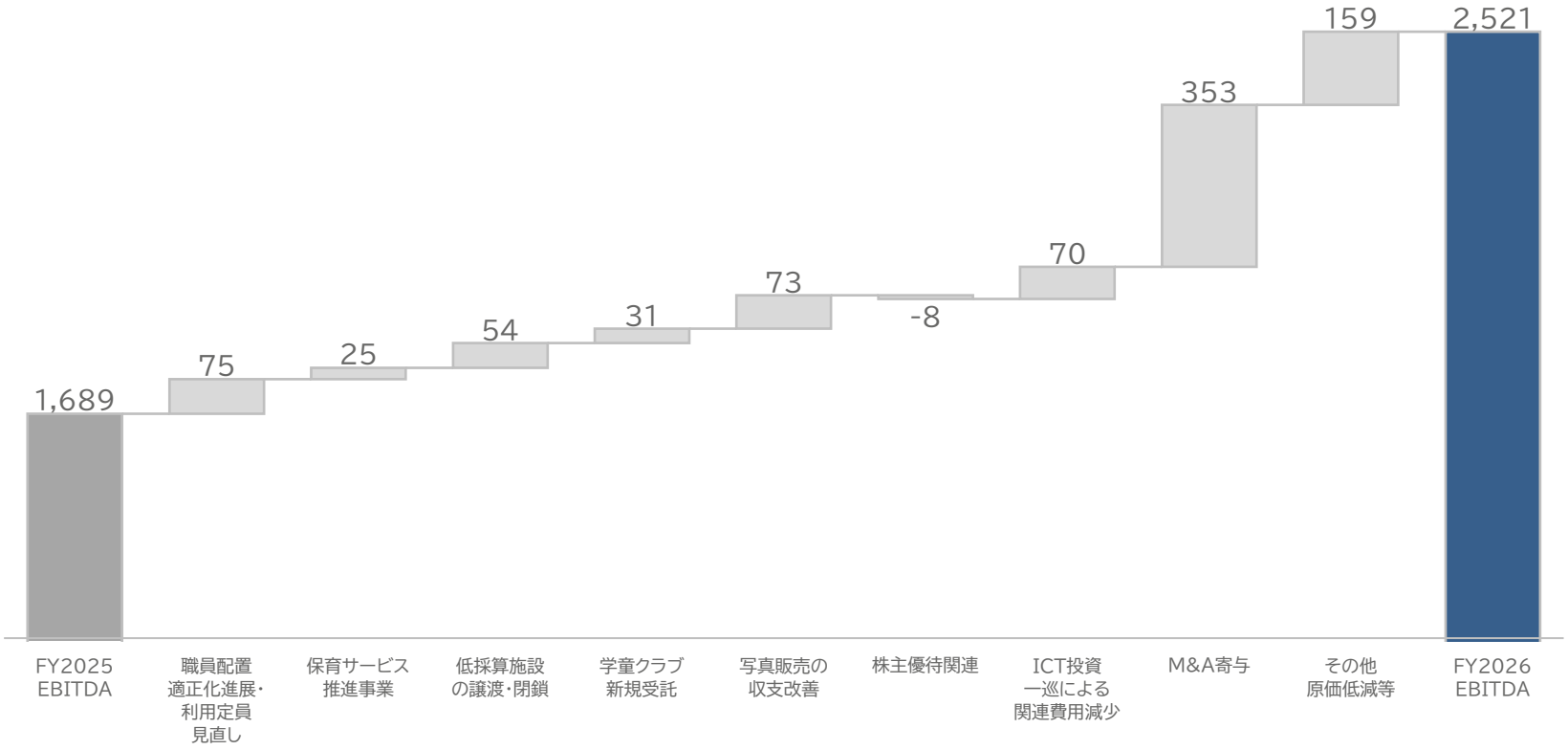
EBITDA(百万円)



EBITDA変動要因

M&Aが大きく寄与したほか、職員配置適正化進展、利用定員見直しによる単価上昇、低採算施設の譲渡・閉園に加えてICT関連費用を中心とした販売管理費減少が寄与し2026年9月期通期のEBITDAは前期比大幅拡大。

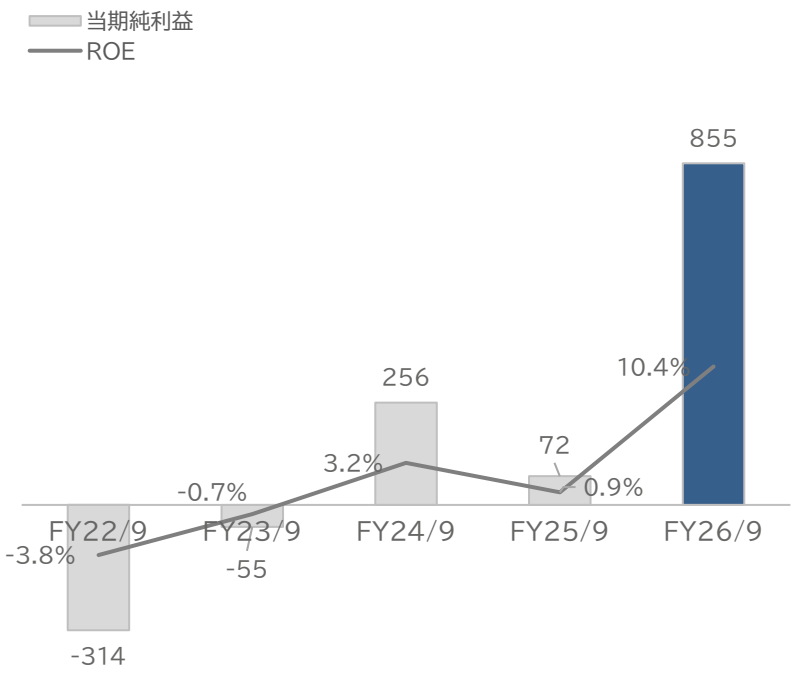
EBITDA変動要因(百万円)



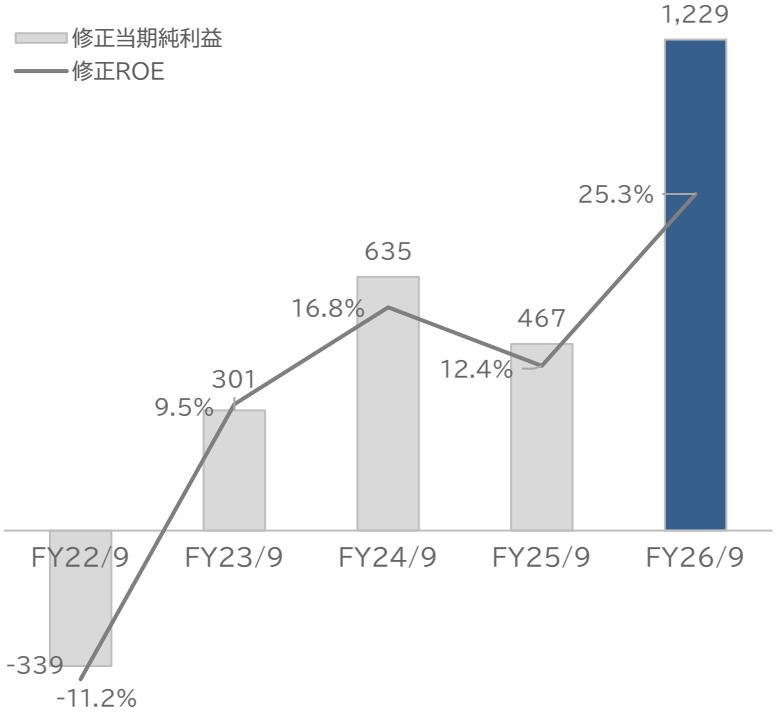
修正当期純利益・修正ROE

ROEは10.4%と大幅改善。異なる会計方針で算出した修正ROE（2026年9月期）は25.3%。資本コストレンジ（7-8%）を大きく上回る水準。

当期純利益、ROE



修正当期純利益、修正ROE



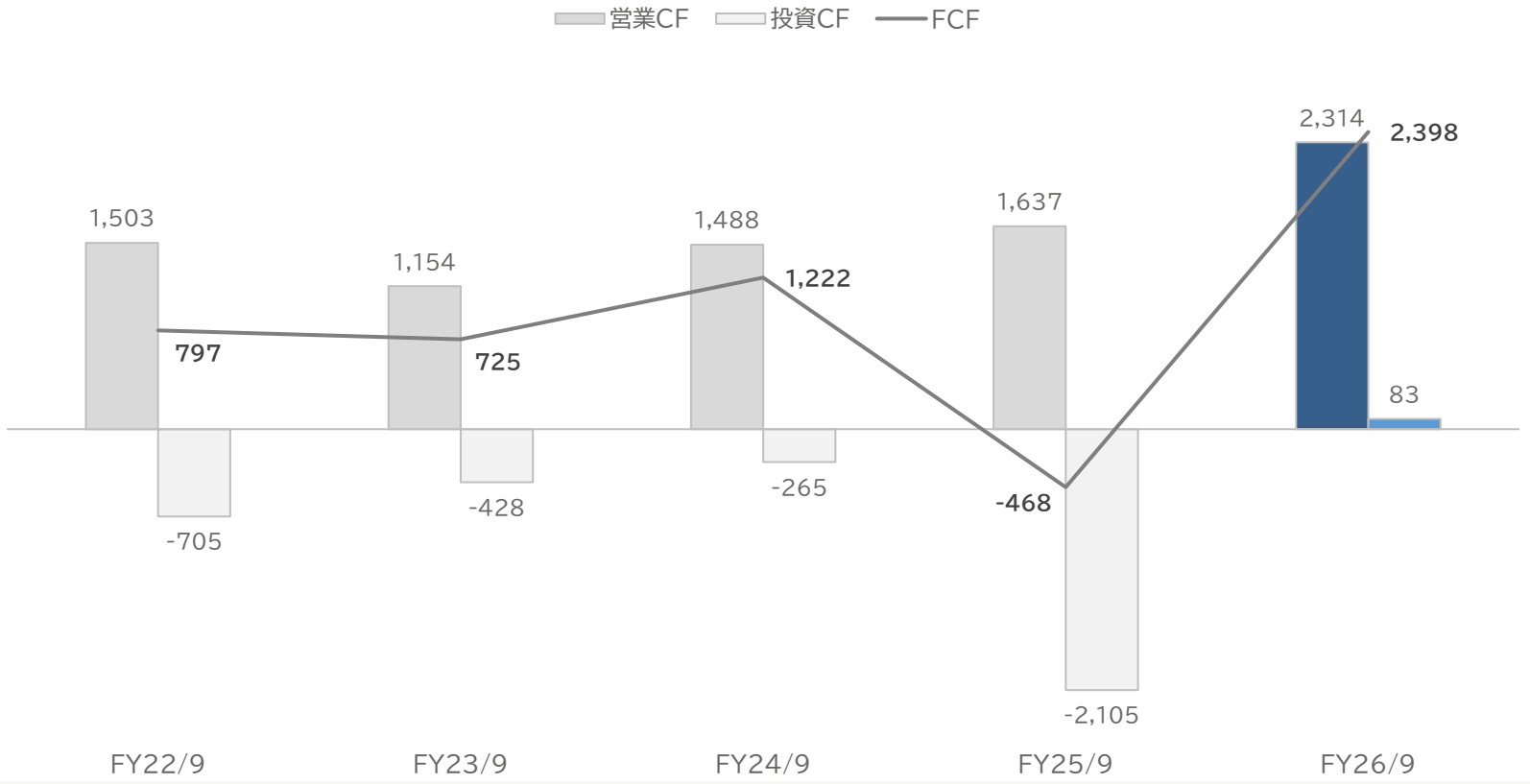
修正当期純利益、修正ROE

- 修正当期純利益：自治体からの補助金で固定資産を取得した際、補助金の額を控除した額を固定資産計上する会計処理「直接減額方式」に基づいた当期純利益
- 修正ROE：修正当期純利益を「直接減額方式」に基づいた修正純資産で除したROE
- 当社は財務会計において補助金控除前の金額を固定資産計上する「剰余金処分方式」を採用。同方式においては「直接減額方式」と比較し減価償却費が多くなる
- 新規開設がない状態が継続すると、ROEと修正ROEは何れ収斂

フリーキャッシュフロー（FCF）

フリーキャッシュフローは、主に当期純利益の増加が寄与し、過去最高を更新。
※前期はM&Aによる支出あり

フリーキャッシュフロー（百万円）



売上高：保育事業施設数

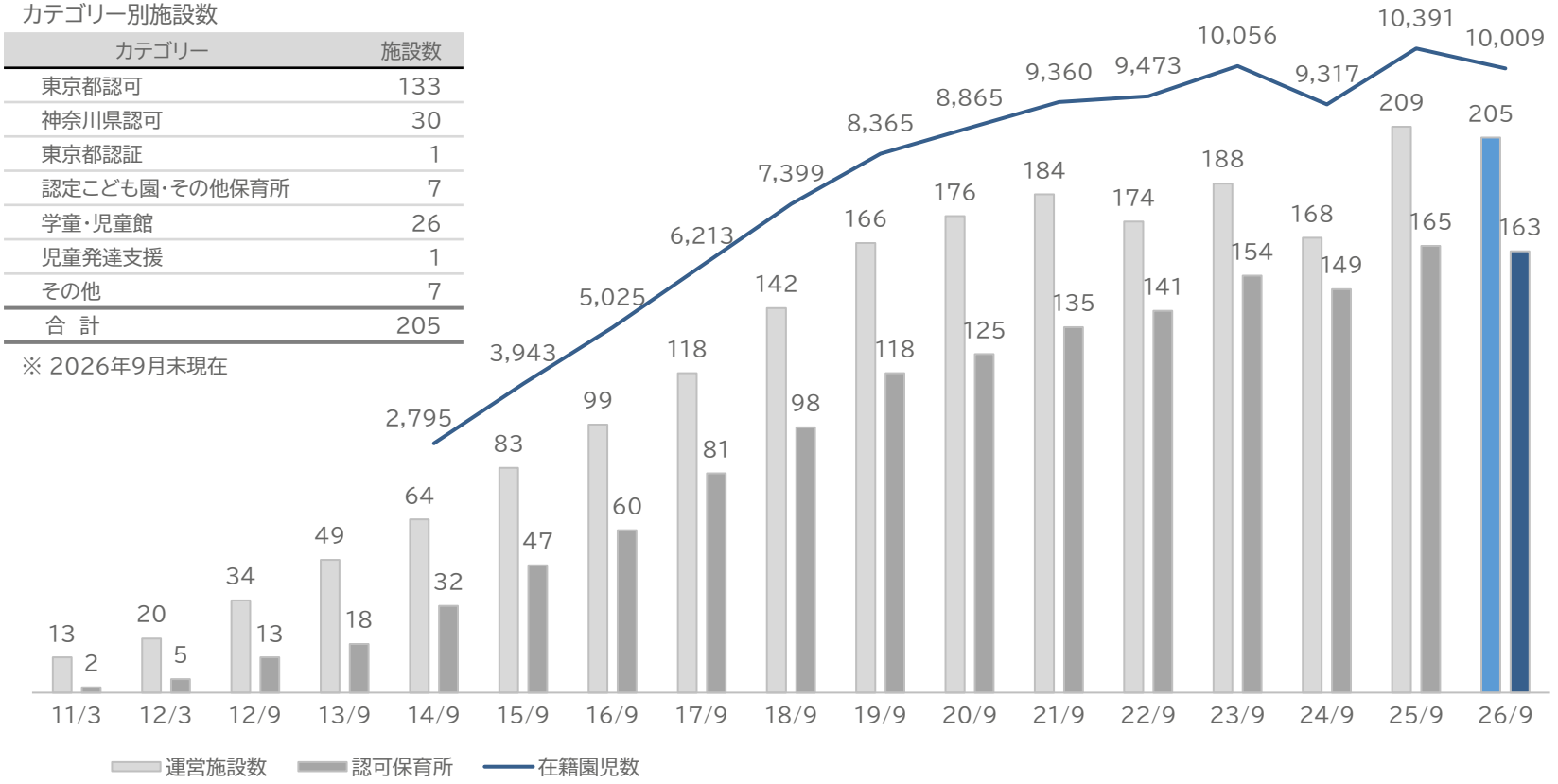
2025年7月末のアソシエグループ買収による運営施設数の増加が当期売上増に寄与。
2026年9月末の施設数は当社グループが注力している東京都及び神奈川県認可保育所以外の譲渡・閉園によりやや減少。
認可保育所運営数は163。うち東京都認可保育所は133と業界No.1の運営数。

施設数、園児数推移

カテゴリー別施設数

カテゴリー	施設数
東京都認可	133
神奈川県認可	30
東京都認証	1
認定こども園・その他保育所	7
学童・児童館	26
児童発達支援	1
その他	7
合　計	205

※ 2026年9月末現在

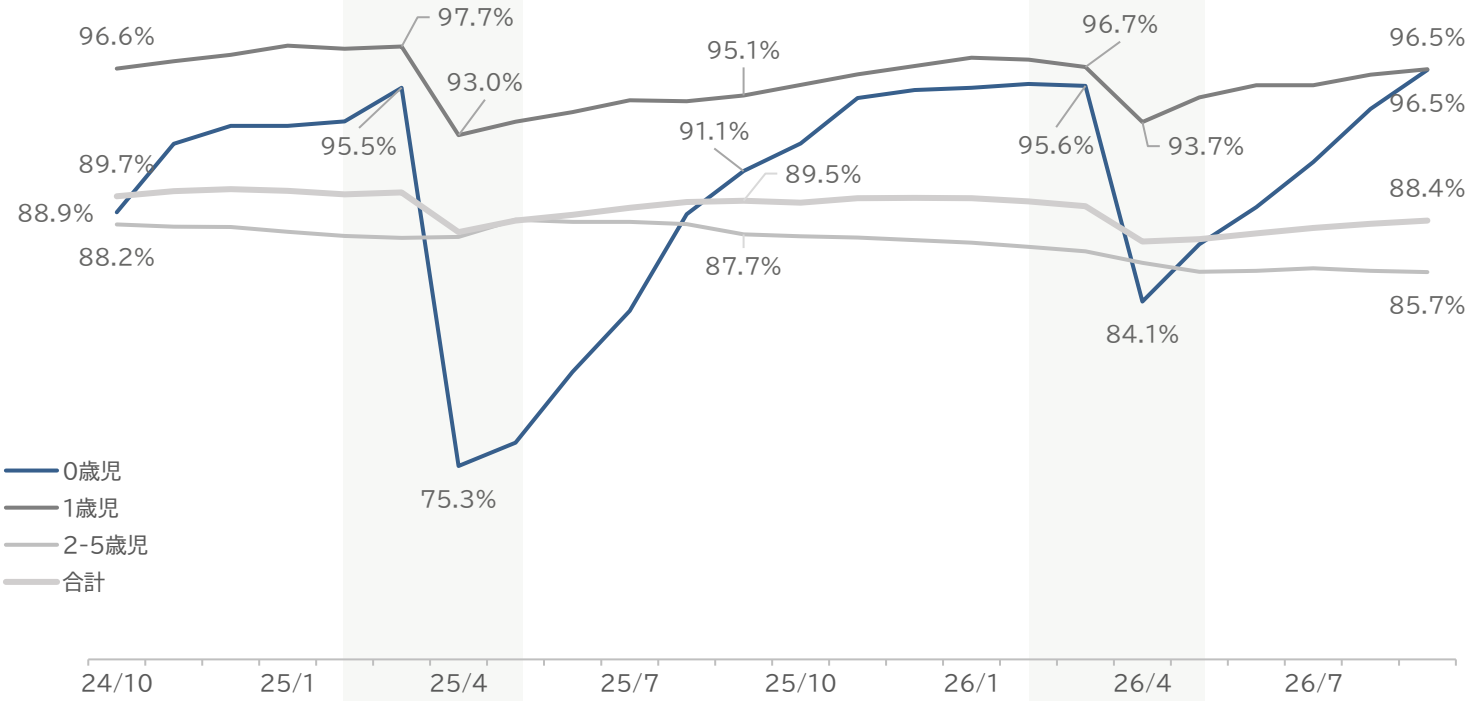


注）在籍園児数は、保育所のみ

売上：入所率

保育所合計の入所率は前期比やや低下するも、歳児別では例年4月に大幅に落ち込む傾向がある0歳児の入所率が26年4月は84.1%にとどまり、前年（75.3%）と比べ落ち込み幅が大きく縮小。9月の入所率は東京都の保育料等第一子無償化施策が追い風となり、0歳児が96.5%と前年同月比5.4ptの大幅上昇。1歳児も96.5%と同1.4pt上昇。

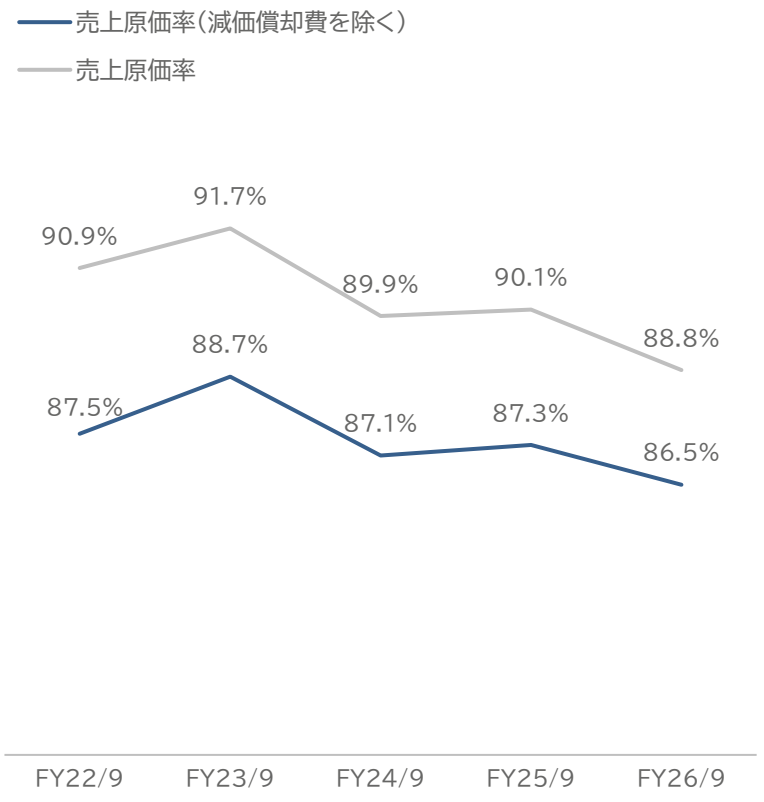
歳児別　入所率



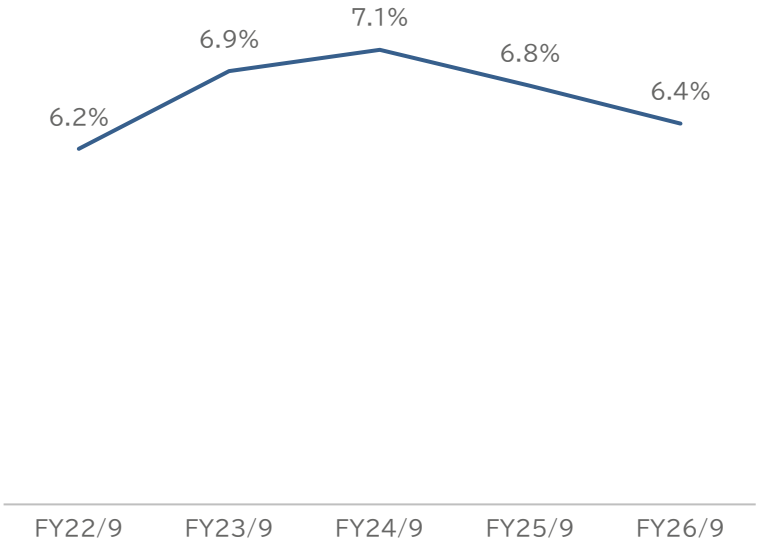
売上原価率・販売管理費率

売上原価率（減価償却費を除く）は、売上高拡大に加えて低採算施設の譲渡・閉園が寄与し前期比0.8pt低下。
販売管理費率は、ICT関連費用を中心とした減少により、前期比0.4pt低下。

売上原価率



販売管理費率

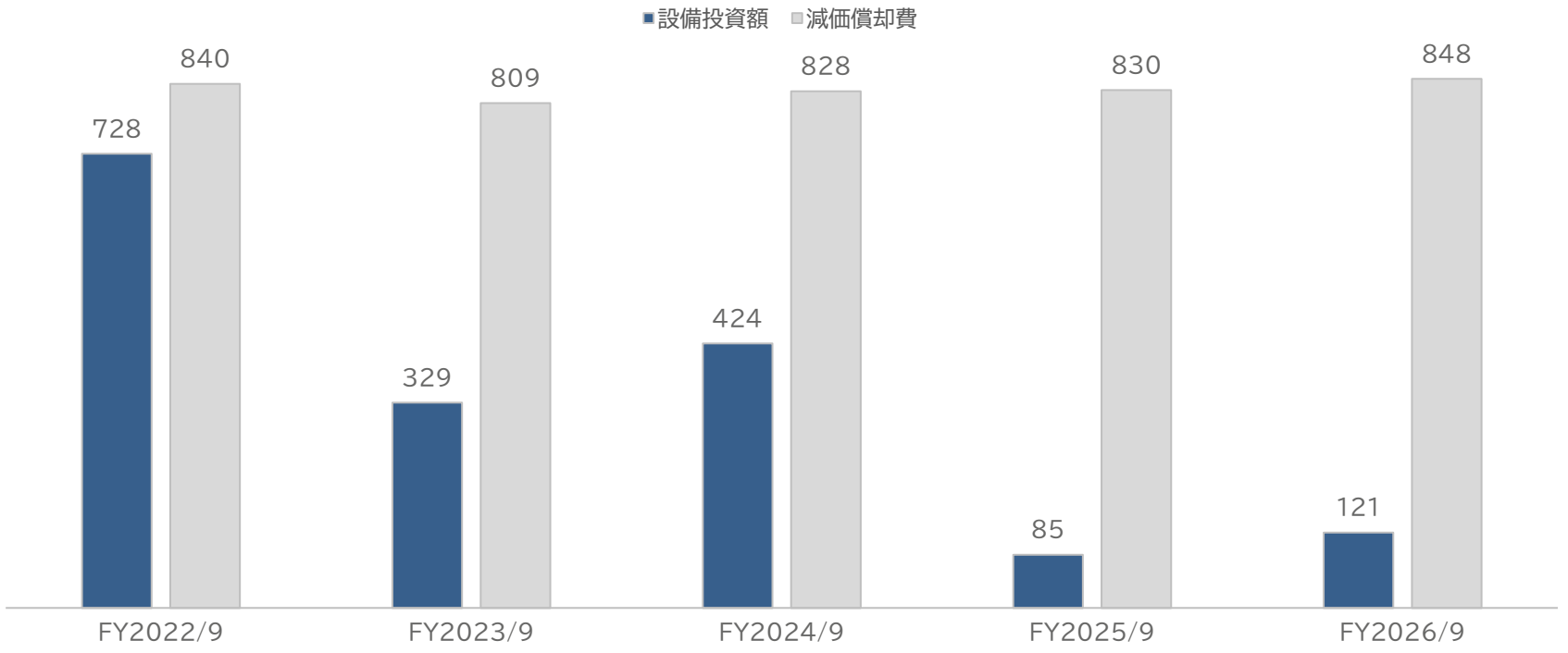


注）FY23/9に会計方針を見直し、施設に係る租税公課及び採用広告費を販売管理費から売上原価計上に変更。FY22/9以前は同様のベースに調整

設備投資・減価償却費

エアコン・空調工事による投資が発生したものの、設備投資額は前期並みの121百万円。

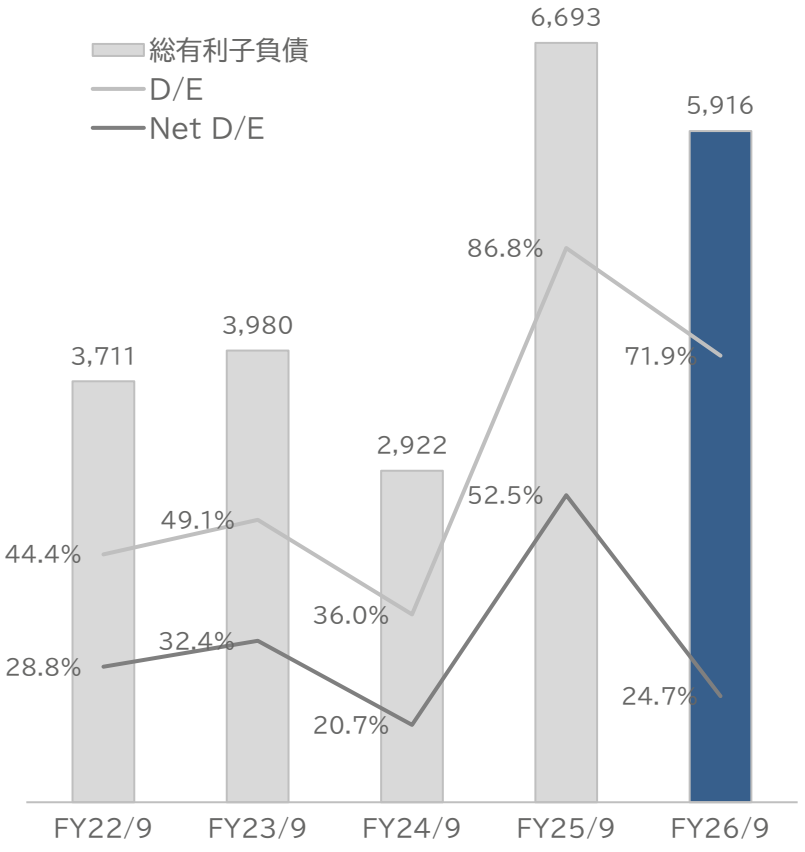
設備投資額と減価償却費（百万円）



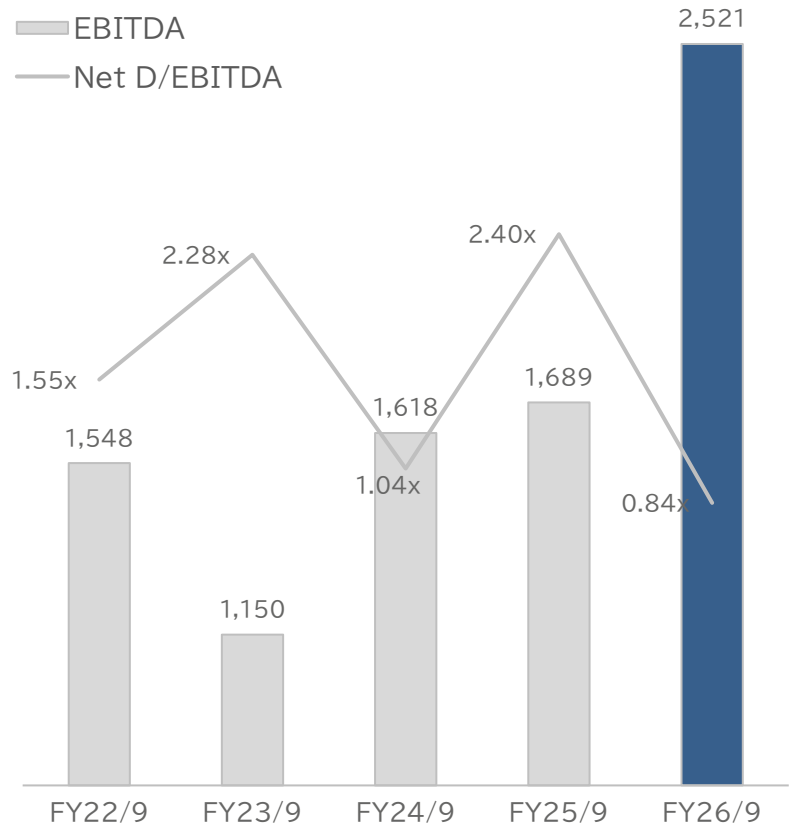
財務健全性

2025年9月期にM&A資金の借入調達により有利子負債が増加したものの、返済が進み2026年9月期は順調に減少。Net D/Eレシオ、Net D/EBITDAとも低下。

D/Eレシオ、総有利子負債(百万円)



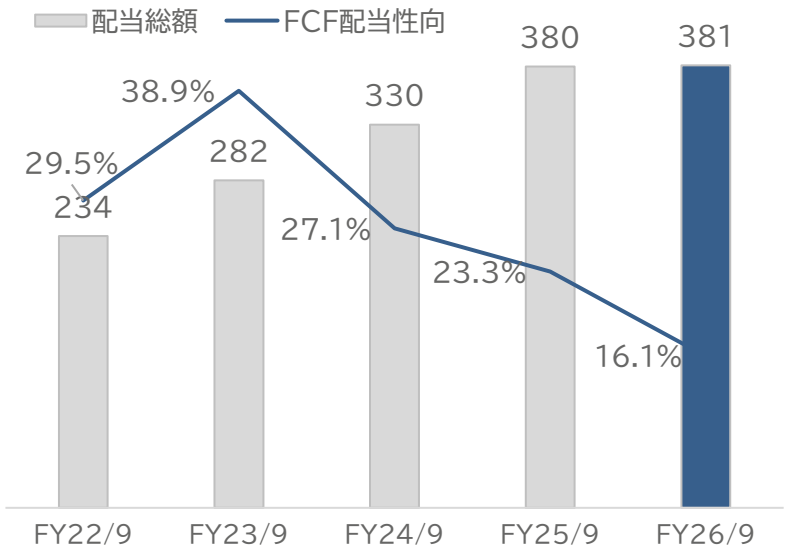
Net D/EBITDA、EBITDA(百万円)



株主還元を積極推進

収益向上によりフリーキャッシュフロー配当性向は低下傾向。
現金配当に加えて株主優待を実施。

フリーキャッシュフロー配当性向



注）FY25/9は、M&A資金調整後のFCF1,628百万円を基に算出した配当性向

株主優待制度

- 毎年3月末日及び9月末日時点の株主名簿に記載された500株以上を保有する株主様に、株主優待を進呈
- 進呈内容 年2回「giftee Box®」10,000ポイント（年間20,000ポイント）

注）「giftee Box®」は、株式会社ギフティが提供するデジタルギフトであり、様々なラインナップの中から進呈された「ギフトポイント」内でお好きな商品と交換可能。「giftee Box®」及び「ギフトポイント」の利用には会員登録やアプリダウンロードの必要もなく、保有ポイント内で複数のギフトの選択にも対応

TOPICS

待機児童数・出生数　増加

2026年上半期の出生数は11年ぶりの増加。なかでも、東京では前年の増加につづいて大幅増を記録。

待機児童数増加に転ずる

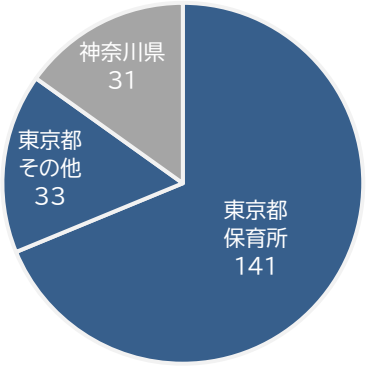
- 2026年4月時点の全国待機児童数は前年比181人増の2,435人と9年ぶりに増加
- 東京都の待機児童数は1,113人に達し、前年比774人増と大きく拡大

出生数増加

- 減少傾向が続いていた全国出生数は、2026年上半期に前年同期比0.4%増の32万458人(概数)と11年ぶりに増加
- 当社グループが重点的に施設を展開する東京都の2026年上半期出生数(速報値)は、4万1,745人と前年同期比4.7%増の大幅増

ドミナント戦略の優位性

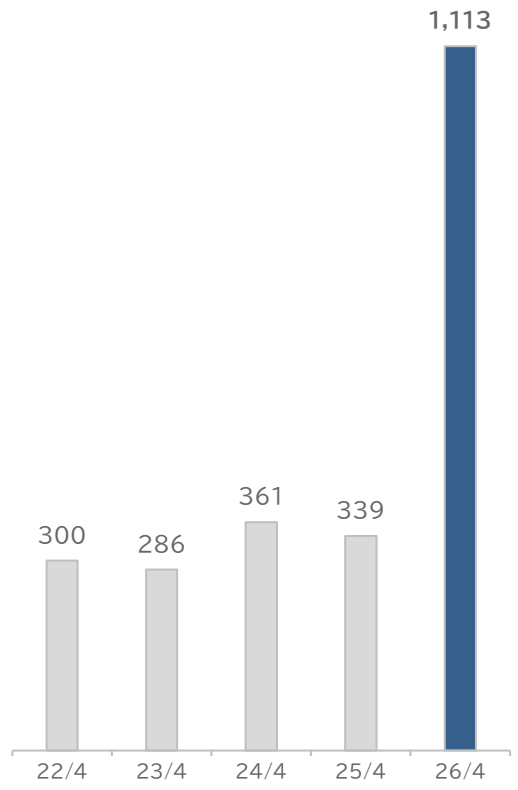
- 当社グループの運営施設数205のうち東京都で展開している施設は174に上る(右図参照)
- うち保育所は全171のうち141が東京都で運営
- 東京都内中心に施設展開し、東京都認可保育所の運営施設数が業界No.1である当社グループにとって、ドミナント戦略の優位性が高まる好機



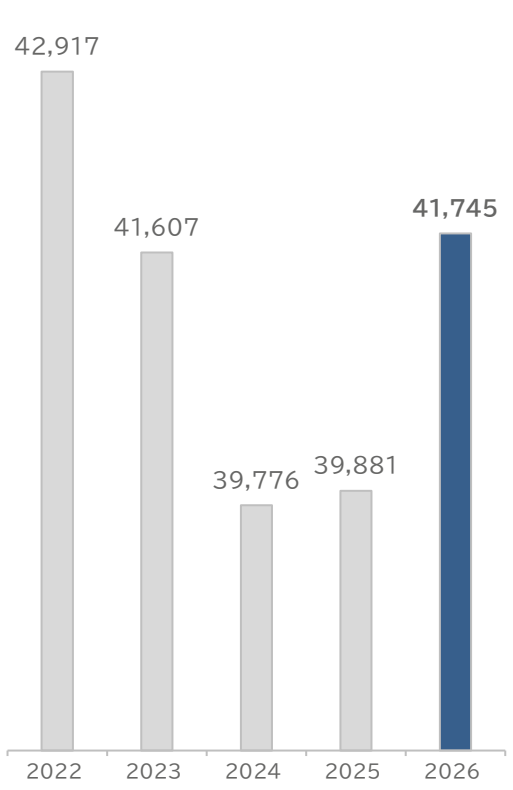
出所:厚生労働省 人口動態統計速報、令和8年度東京都予算案の概要

東京都　待機児童数・出生数

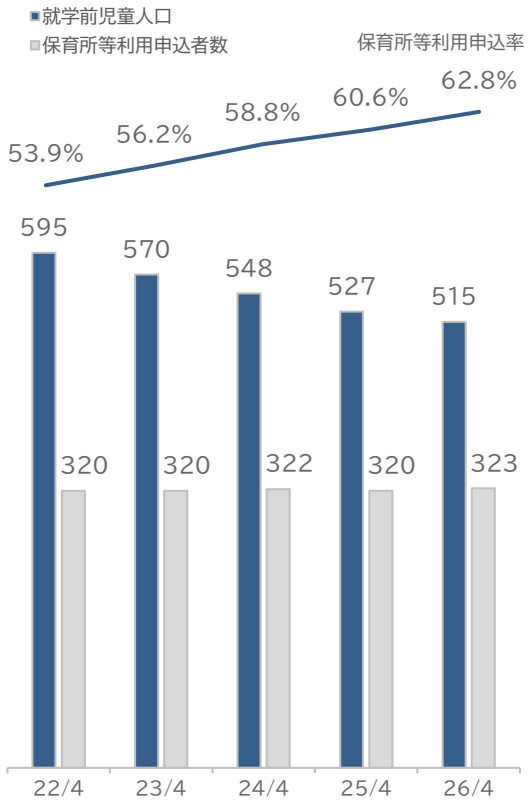
東京都　待機児童数（人）



東京都　上半期出生数（人）



東京都　保育所等利用申込率（千人）



出所：東京都 都内の保育サービスの状況、厚生労働省 人口動態統計（月報）

Ｍ＆ＡのＰＭＩの状況

２０２５年９月期に株式取得したアソシエグループは、着実に利益を積み上げ。
本部管理部門の統合、共同購買、収支改善施策の展開等によるシナジー発現を推進。

■連結業績への寄与

- みなし取得日を2025年9月30日として連結会計処理を行っており、アソシエ・アカデミー及びアソシエ・インターナショナルの損益については、今期期初より連結
- アソシエグループの業績は計画通りに進捗し連結業績に大きく寄与
- 取得価額　3,200百万円
- 2026年9月期のEBITDA寄与　353百万円

■PMIの進捗

- 保育所及び学童クラブ等において、安定した運営体制を継続。安心安全な保育環境及び職員の労働環境を維持
- 本部管理部門について、本年5月にオフィス統合完了。バックオフィス業務の共通化、グループ全体の管理コスト適正化を推進
- 食材仕入や電力・消耗品等の購買枠組み見直しによる購買力強化を検討・推進。スケールメリットを活かし利益率の改善を図る
- 管理栄養士間の献立作成ノウハウや食育事例の共有を通じ、食育の質向上を推進
- グローバルキッズ、おはようキッズで園児に提供している特別栽培米をアソシエ・インターナショナルにも展開予定
- 入所状況を精査したうえで必要に応じ、グローバルキッズで実績のある定員変更を検討し収支改善を図る

イエナプラン教育

保育の質向上・教育の専門性を追求し、選ばれる園としての差別化を図るため「イエナプラン教育」ビジョンの全社導入を推進中。
国内初・同時認定としては最多となるグループ11施設が「研究推進園」に認定。



■「研究推進園」認定施設

- グローバルキッズ飯田橋園
- グローバルキッズ蒲田第二保育園
- グローバルキッズ新大塚園
- グローバルキッズ東日暮里園
- グローバルキッズ曳舟保育園
- グローバルキッズ代々木八幡園
- グローバルキッズ日吉園
- グローバルキッズ大倉山園
- グローバルキッズ美しが丘保育園
- おはよう保育園 清澄白河
- おはよう保育園 南砂町

※認定：一般社団法人日本イエナプラン教育協会

■進捗状況

新たに16施設の「研究推進園」認定に向け、本年度は保育・教育の質のさらなる向上を目指し、サポート体制を強化。

2026年10月にオランダでの海外研修を実施。現地のイエナプランスクールを視察。

2027年9月期 業績見通し

2027年9月期 業績見通し

2027年9月期は、保育の質向上に加えて園見学や情報発信等マーケティング強化による在籍園児数増加により前期比2.0%増収の見込み。保育サービス推進補助金の積み上げ、収支改善施策の実行継続を推進しEBITDA、営業利益とも4期連続で過去最高を更新する見通し。

（百万円）	FY2026/9 実績	FY2027/9 予想	前期比
売上高	33,165	**33,830**	**+2.0%**
EBITDA	2,521	**2,730**	**+8.3%**
営業利益	1,574	**1,800**	**+14.3%**
経常利益	1,501	**1,700**	**+13.2%**
親会社株主に帰属する当期純利益	855	**1,050**	**+22.7%**
1株当たり配当金	40円	**40円**	**ー**

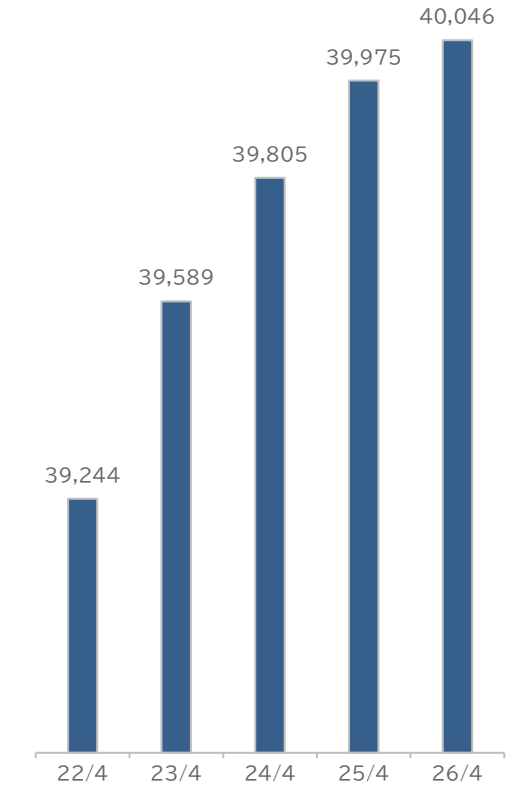
付属資料

運営施設数の内訳

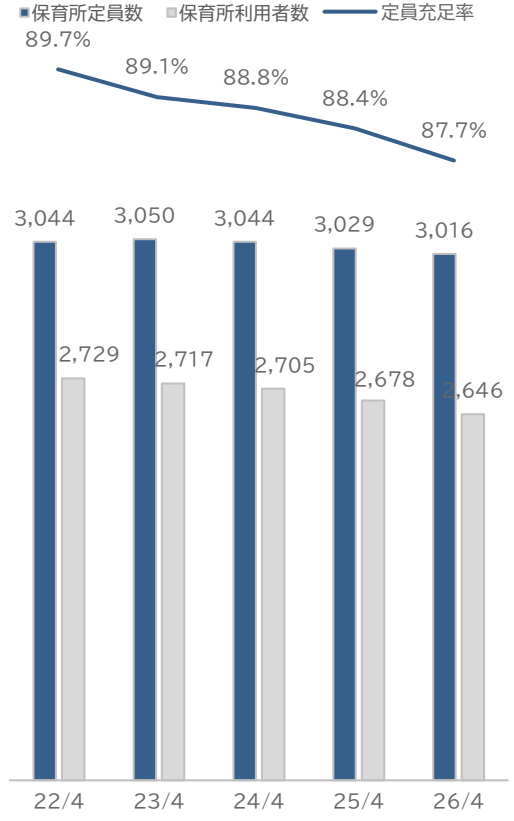
	FY15/9	FY16/9	FY17/9	FY18/9	FY19/9	FY20/9	FY21/9	FY22/9	FY23/9	FY24/9	FY25/9	FY26/9
認可(東京都)	28	38	56	70	86	91	98	103	115	115	133	133
認可(神奈川県)	16	17	19	20	23	25	27	28	29	29	30	30
認可(その他)	3	5	6	8	9	9	10	10	10	5	2	-
東京都認証	21	22	20	20	17	17	16	15	15	4	3	1
認定こども園・ その他保育所	5	6	5	5	6	6	6	5	7	4	8	7
企業主導型	-	-	-	7	11	11	11	-	1	-	-	-
学童・児童館	10	11	12	12	13	13	12	10	11	11	25	26
児童発達支援	-	-	-	-	1	4	4	3	-	-	1	1
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7
合計	83	99	118	142	166	176	184	174	188	168	209	205

保育所数・定員充足率・待機児童数

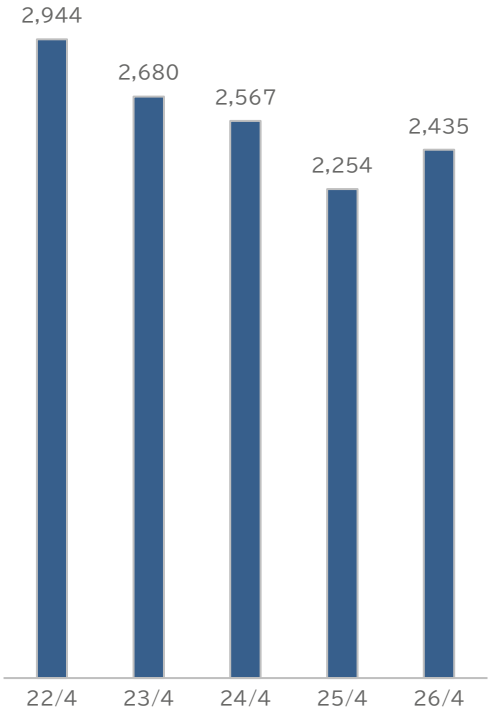
全国保育所等数



全国保育所の定員と利用状況（千人）



全国待機児童数（人）



出所：厚生労働省、こども家庭庁「保育所等関連状況取りまとめ」より

保育サービス売上高ランキング

	社 名	売上高(百万円)
1	JPホールディングス	43,325
2	ライクキッズ	35,306
3	こどもの森	33,777
4	**グローバルキッズCOMPANY**	**33,165**
5	ポピンズ	32,475
6	アイグラン	22,014
7	さくらさくプラス	17,593
8	HITOWAキッズライフ	14,911
9	テノ. ホールディングス	13,624
10	セリオ	12,145

出所: 2026年11月4日付 日経MJより。当社は2026年9月期 連結売上高より
注) さくらさくプラスは不動産事業を含む

GlobalKids